

■第1部 地域学の視点

- 4/13 第1回 柳原邦光 「希望の学としての地域学」〈序章・1章・終章〉
- 4/20 第2回 光多長温 「地域主義の系譜と地域学」〈2章（8章）〉
- 4/27 第3回 矢野孝雄 「地形から地域を読む」〈7章〉
- 5/11 第4回 仲野 誠 「生きられる地域のリアリティ」〈5章〉
- 5/18 第5回 児島 明 「人の移動から地域を問う」〈6章〉
- 5/25 第6回 家中 茂 「生活のなかから生まれる学問」〈4章〉
- 6/3 第7回 第1部まとめ

■第2部 歴史性をつなぐの回復

- 6/8 第8回 柳原邦光 「なぜ歴史性なのか—フランス史の事例から—」
- 6/15 第9回 岸本 覚 「地域意識と歴史性—日本史の事例から—」
- *6/22 第10回 内山 節 「『里』（ローカリティ）の思想と歴史性」
- *6/29 第11回 森まゆみ 「まちの暮らしに生きる歴史をみつめて—『谷根千』の実践から—」
- *7/6 第12回 吉本哲郎 「地元学—足元をみつめてつながりを取り戻す—」
- *7/13 第13回 向谷地生良 「『自分自身で、共に』つながりを取り戻す—『個人苦』から『世界苦』へ—」
- 7/20 第14回 第2部まとめ（まとめと教員ディスカッション）

■第3部 全体まとめ

- 7/27 第15回 全体まとめ

○テキスト 『地域学入門—〈つながり〉をとりもどす』ミネルヴァ書房

○公開講座は、*印のついた回（第10、11、12、13回）です。

講師 内山 節（哲学者）

森まゆみ（作家、市民文化活動家）

吉本哲郎（地元学ネットワーク主宰）

向谷地生良（ソーシャルワーカー、浦河べてるの家）